

江田島高等学校校歌

作詞：木下 恵
作曲：小竹富夫

(♩=110~120)

あよき

おわぎささなみは おかをめーぐり はー
よきさまよいやしに おひうかとをはぶれーーねて はうー

るかまさごに は あた わ ゆ き あ ふ れ
まかみちくびくは あし が り こ え あ なら ん
ずかずみゆか はん し がん り の ない ず み

江田島高等学校校歌

はなるかげことりわかくばう
 なるほかたかみこさまけなびびわすあくそび
 ひかたりかいぜにまいり
 つかたえりかいまれにとああり
 ひかき

ぼうむねにわくあ
 かかりむねにとわあくり
 あああ
 たれかこここ
 たれからこここ
 われににに

ーバラいたろのの
 ーふるたいかるの
 ーババ
 あけぼのをとよぶるや
 ひとけぼのえのよるん
 あけぼのえのよるん

江田島高等学校校歌

作詞 木下 恵
 作曲 小竹 富夫

- 一、青きさざ波は丘をめぐり
 遙か真砂には泡雪あふれ
 花影・小鳥・若葉
 光・風に舞い
 希望・胸に湧く
 ああ誰かここに
 バラ色の曙を呼ぶや
- 二、夜半をさ迷いし一葉舟
 遙か導くは誰が声ならん
 古鷹・叫び・救う
 伝説今に在り
 力・胸に湧く
 ああ誰かここに
 古鷹の一声となるや
- 三、清き字び舎にうらつれて
 倦まず汲みゆかん真理の泉
 微笑み・学び・遊び
 光・我と在り
 光・君と在り
 ああ我らここに
 バラ色の曙を呼ばん